

平成29年度第6回常滑市教育委員会定例会会議録（概要）

開催日	平成29年9月28日（木）
開催場所	常滑市役所4階第3会議室
時間	開会 午後1時30分 閉会 午後2時05分
出席委員	委員 鬼頭明美 委員 渡辺慶太郎 委員 久田孝寛 委員 伊藤直 教育長 加藤宣和
出席した職員	教育部長 山崎巖生 学校教育課長 中野直樹 学校教育課付課長 佐藤茂樹 生涯学習スポーツ課長 浜崎博充 学校給食共同調理場長 澤田真宏 学校教育課付主幹 村上正輝
傍聴者	なし
事務局	学校教育課副主幹 芦萱珠代 学校教育課主任 服部将規
議案	なし
報告事項	(1) 常滑市いじめ防止基本方針の改訂について (2) 平成29年度常滑市表彰条例による候補者の内申について (取下げ及び追加) (3) 第22回市民スポーツフェアの開催について
その他（諸報告）	行事連絡（9月～11月）

発言者	発言の要旨
教育長	平成29年度第6回教育委員会定例会を開催する。 平成29年度第5回教育委員会定例会会議録を各委員に諮り承認された。
教育長	会議録署名委員に渡辺慶太郎委員を指名した。
教育長	教育長の報告事項につきまして、8月の定例会以降の教育委員会の動きについて主なものを3点ご報告いたします。 まず、1点目は、8月25日に市民文化会館で、市内外から300名ほどの小中学校の先生に集まっただき、常滑市教育研究大会を開催いたしました。まず、平成28年度日韓文化交流基金主催の日本教員訪韓団に参加された鬼崎北小学校の加藤光一先生から研修報告をしていただきました。その後、特別支援教育ネット代表で宇部フロンティア大学臨床教授の小栗正幸氏から「配慮が必要な児童生徒への支援～言い聞かせ方事始め～」という演題でお話をさせていただきました。現在、いろいろな理由で指導が困難になっている

発言者	発言の要旨
教育長	<p>子どもたちがいます。そんな子どもたち自身が変わるためにどんな状況をつくってあげればいいのか、先生の長い経験を基にしてお話しいただきました。</p> <p>2点目は、8月28日にイオンモール常滑のイオンホールをお借りして、市内外から200名を超える小学校の先生方に参加していただき、第6回のとこなめ教師力アップ研修を行いました。講師には、文部科学省初等中等教育局教育課程課、国際教育課、外国教科調査官そして国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官であられる直山木綿子氏から「次期学習指導要領における外国語教育の在り方」という演題で、小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の教科としての英語教育をどのように進めていくのかをお話しいただきました。</p> <p>3点目は、現在、9月13日から10月10日までの28日間の日程で9月議会が開かれております。今回は、教育委員会関係の議案はありません。一般質問として、加藤代史子議員から「がん教育について」、相羽議員から「TSIEに対する市の取組について」と「社会体育施設について」の3つのご質問をいただきました。</p> <p>「がん教育について」は、「現在はがんについて小学校6年生と中学校3年生の保健の時間で取り上げています。今後、がん教育を推進するために、先進市町の事例を参考にしながら学校におけるがん教育の在り方を検討する必要があると考えております。」</p> <p>「TSIEに対する市の取組について」は、「市内の小学生の海外派遣や海外からの派遣団の受け入れを続けているTSIEの補助金額は現在は110万円で、ここまで活動が発展してきたのは、TSIEの皆さんが学校の職員や保護者と協働し、積極的に取り組んできたおかげであり、これからもこの活動が末永く継続できるように発展に寄与したい。」</p> <p>「社会体育施設について」は、「西仲根のグラウンドの代替地について、三和小学校のグラウンドを利用していただくように調整中です。また、西知多道路の建設に伴う、青海グラウンドの代替地については、西知多道路の建設計画において、現在県が関係者と協議をしながら設計を進めていると伺っております。その後の用地買収スケジュール等未確定の部分が多く、今後も情報の収集に努め、スムーズに移行できるように対応したい。」とお答えしました。</p> <p>9月11日より鬼崎南小学校から学校訪問も始まっております。学校ではそれぞれ順調に2学期も始まっているようです。行事の多い学期であり、実り多い学期になることを期待しております。</p>

発言者	発言の要旨
教育長	<p>さて、本日は議案がなく、3つの報告事項を予定しております。よろしくお願いたします。</p> <p>報告第1号、常滑市いじめ防止基本方針の改訂についての説明をお願いします。</p>
学校教育課付主幹 教育長 委員1	<p>資料に基づき説明。</p> <p>何かご質問ありませんか。</p> <p>質問ではありませんが、8ページの(1)いじめの防止、または9ページの(2)いじめの早期発見の文面の中にある「いじめの当事者たちだけではなく、傍観者とならず、いじめをやめさせるための行動をとる重要性を理解させるように努める」という文面や、傍観者である子どもたちから情報を得ること、子どもたちが言葉を発信することが多大な勇気を要するものであるということ、私たち親側もそうですが、「教職員は理解し、これを踏まえて学校は、子どもたちからの相談に対しては、必ず学校の教職員等が迅速に対応するように徹底する」という文言がとても心強いというか、いじめは当事者間だけではなく、傍観者の子どもたちも含めたことであるんだなということを感じました。この前の幼稚園訪問で5歳児の女の子の揉め事の話になった時も、先生たちは揉め事の現場をなかなか見つけられないと言っていました、〇〇ちゃんが見てるんじゃないか？と言った時に「〇〇ちゃん見てた？」と聞いても、最初は「知らない」と答えたそうですが、いろいろ状況を話していったら、「こうだった、ああだった」と話し始めたけど、解決には至っていないと聞きました。話し始めた傍観者の子の心の動きはわかりませんが、5歳児も話すまでに勇気がいるので、子どもたちが言葉を発信することが多大な勇気を要するというこの言葉が入れられたのはすごくいいなと思いました。</p>
学校教育課付主幹	<p>周りの子の目というのはすごく重要ですし、子どもたちが言葉を発信することは勇気のいる行動だと思います。見て見ぬふりをするところもあるかもしれませんが、それだとだめだということを日頃から指導しているところですし、しっかりと教師も自覚して指導にあたっていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>8月29日のいじめ問題専門委員会の場で話し合われたことは、8ページに書いてありますように、いじめ防止については、集団の一員としての自覚や自信、自己有用感や自己肯定感を地道に育んでいくことが原案では重要視して前面に出すぎていておりました。弁護士さんやカウンセラーから子どもたちが互いの違いや多様性を認め合うことをきちんとやることの方が先じゃないのかとご提案をい</p>

発言者	発言の要旨
教育長	<p>ただき、互いの違いや多様性を認め合うことは今大事なことです。から、こういった文言を入れさせていただきました。互いの違いや多様性を認め合うことも大切にしながら、社会の形成者を育てることが学校のひとつの務めでもありますので、集団の一員としての自覚や自信、自己有用感や自己肯定感を地道に育てていくことも大事にしながらやっていきたいなと思っております。</p>
教育長 学校教育課長 委員 2	<p>報告第 2 号、平成 29 年度常滑市表彰条例による候補者の内申について（取下げ及び追加）の説明をお願いします。</p> <p>資料に基づき説明。</p> <p>過去に同趣旨の表彰を受けているため取下げになったという理由を見て、後から出てくるのが腑に落ちません。審査がばらばらだと不公平になるのかなと思うので、他の方についても確認してください。</p>
教育長	<p>一度確認していただくということによりよろしくお願いします。</p>
教育長 生涯学習スポーツ課長	<p>報告第 3 号、第 22 回市民スポーツフェアの開催についての説明をお願いします。</p> <p>資料に基づき説明。</p>
教育長 学校教育課長	<p>行事連絡（9 月～11 月）について説明をお願いします。</p> <p>資料に基づき説明。</p>
教育長	<p>他になければ、これをもって平成 29 年度第 6 回教育委員会定例会を閉会します。</p>